

【2019年参议院議員選挙・立候補予定者アンケート】

勝部 けんじ（北海道選挙区・立憲民主党）

1. 憲法9条「改正」について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成      b.  反対      c. その他

理由

日本は敗戦の反省から現在の日本国憲法を作り、海外の紛争に武力をもって介入しないという9条の平和主義によって、戦後、経済発展を遂げながら国際社会の信頼を築き上げてきました。専守防衛の立場を堅持し、9条を持つ日本だからこそできる国際平和への貢献を続けるべきだと考えます。

2. 泊原発再稼働について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成      b.  反対      c. その他

理由

泊原発は、再稼働に向けた原子力規制委員会による審査（原子力施設新規規制基準適合性審査）に時間がかかっており、見通しが立たない状況です。どれほど厳格な安全基準を満たしたとしても、万が一の事故に備えて入念な避難計画を作成したとしても、原子力事故がもたらす長期的、広域的な影響を考えると、原子力に依存する社会は持続的とはいえません。

3. 高レベル放射性廃棄物の「幌延深地層研究計画」について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成      b.  反対      c. その他

理由

地層処分研究については、「放射性廃棄物の持ち込みや使用をさせない、研究終了後は地下施設を埋め戻す、最終処分場とせず中間貯蔵施設も設置しない」という旨の協定を今後もしっかり守らせることが重要です。「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」を遵守し、幌延町のみならず北海道に放射性廃棄物を持ち込ませないよう取り組んでいきます。

4. 「(仮称)放射能汚染防止法」制定について、どのようにお考えですか。

- a.  賛成      b. 反対      c. その他

理由

福島原発事故後の環境基本法改正で放射性物質が公害物質として扱われることとなりました。しかし、関係法に規制基準や罰則規定が規定されず、汚染者が責任を問われないままになっています。「(仮称)放射能汚染防止法」を含めて、早期の法整備が必要と考えます。

5. 食の安心・安全を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

主要農作物種子法を復活し北海道の優良品種を守り育てることや、現在実施されている日米貿易協定交渉において、日本農業や食の安全に対する影響が出ないように毅然と対応していきたいと考えます。また、遺伝子改変農作物の安全性や環境影響、喫緊の課題である食品審査や表示問題にも取り組んでいきたいと思ひます。

6. 社会保障制度の充実に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

市民のセーフティネットである社会保障制度の再整備を先頭に立って進めることこそ、一番重要な国の役割だと考えています。多岐にわたる社会保障制度ですが、医療・介護はもちろん、低年金高齢者の年金問題、子育て支援問題（保育問題、働き方改革など）、子どもの貧困問題、共生社会の実現などに取り組んでいきたいと思ひます。

7. 男女平等社会の確立に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

男女平等社会の実現に向けては、女性の尊厳を守り、人生の多様な選択肢を確保していくことが重要だと考えています。特に男性中心の労働慣行は大きな障壁であり、男女間賃金格差の是正や非正規労働の見直し、だれもが働きやすい周辺環境の整備に取り組みます。また、政治分野における平等、権利教育の推進、女性に対する暴力や貧困問題などへの支援、介護（助）者への支援を進めていきたいと思ひます。

以 上